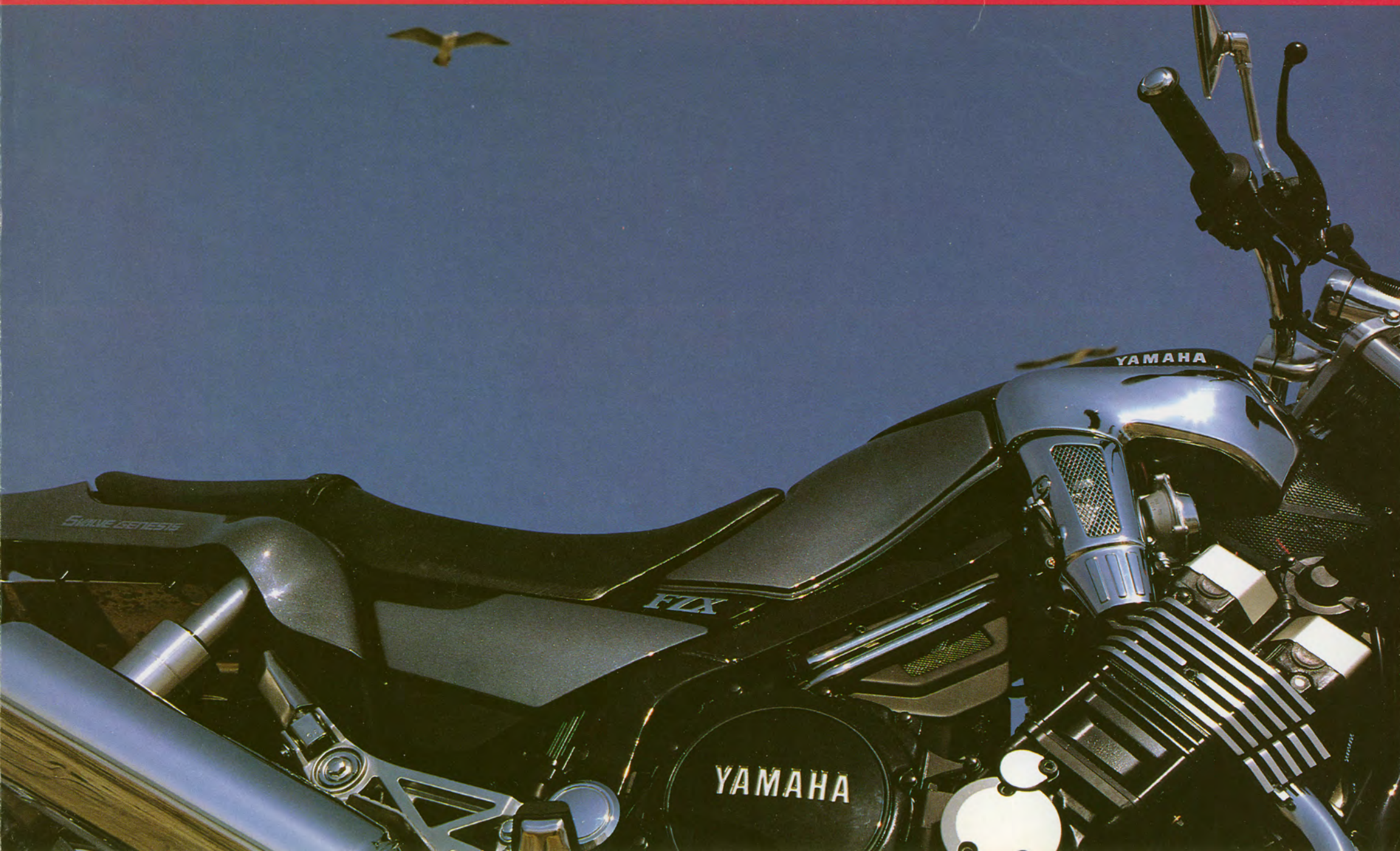


# YAMAHA

## 4サイクルスポーツ

### 5 VALVE PERFORMANCE

# FZX750



この写真はプロフェッショナルライダーのテスト走行を撮影したものです。一般公道では無理な走行をせず、安全な運転をしましょう。



**FZX750**  
●標準現金価格¥745,000  
(北海道および沖縄を除く)  
●オリオンシルバー

新しいバイクの買い方です。簡単な手続きとわずかな頭金があれば最長20回までの分割払いで好みのバイクがすぐ手に入るしくみ。月々の支払い方法もお好み次第。幾通りのコースから自由に選べる便利さです。



クローズドコースでの「マン・マシン・コミュニケーション」の極致が、一般道路での安全で快適な走行を生み出します。お問合せ、お申込みは、このマークのヤマハスポーツ店へ。

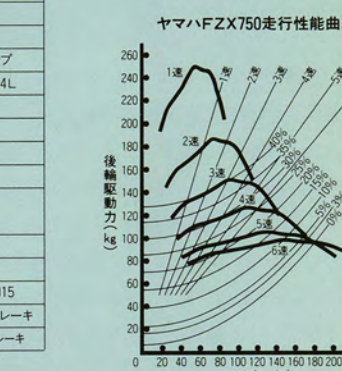
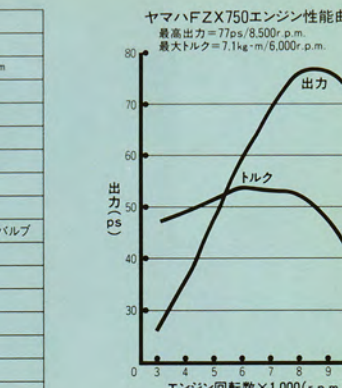
ヤマハライディングスクール(YRS)サーキットランに参加しませんか。

**Y.E.S.S.** ●Y.E.S.S.(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの略。モーターサイクルがプレゼントしてくれる限りなく大きな遊びの世界を、もっと積極的に楽しもうと生まれた新しいクラブです。●特典もいろいろ。入会のお申込み、お問合せは、Y.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店へどうぞ。

バイクライフを大きく広げるY.E.S.S.に、参加しませんか。

FZX750仕様諸元	
機種コード	2AK
全長/全幅/全高	2,230mm/785mm/1,110mm
軸間距離	1,530mm
シート高/最低地上高	750mm/150mm
乾燥重量	203kg
燃費(定地走行テスト値)	42km/l (60km/h)
最小回転半径	2.77 m
制動停止距離	14 m (50km/h)
エンジン種類	4サイクル・水冷・DOHC・5バルブ
気筒数配列/総排気量	並列4気筒/749cc
内径×行程	68.0mm×51.6mm
圧縮比	11.2:1
最高出力	77ps/8,500r.p.m.
最大トルク	7.1kg-m/6,000r.p.m.
始動方式	セル式
点火方式	フルトランジスタ
燃料タンク容量	13ℓ
エンジンオイル容量	3.5ℓ
潤滑方式	強制圧送式ウェットサンプ
バッテリー容量/型式	12V/14Ah(10hr)/YB14L
1次減速機構/減速比	ギヤ/1.895
2次減速機構/減速比	スプロケット/2.235
クラッチ形式	湿式多板
変速機形式	リターン式6段
変速比	2.923/2.187/1.777/1.500/1.272/1.125
フレーム形式	ダブルクレードル
キャスト/トレール	28°45'/114mm
タイヤサイズ:前/後	110/90-H16 140/90-H15
制動装置:前	油圧式ダブルディスクブレーキ
制動装置:後	油圧式シングルディスクブレーキ

●燃費は定められた試験条件のもとでの値です。従って走行時の気象・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。  
●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容の一部実車と異なる場合があります。  
●ボディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。



ロードゴーイング——道を行くために求められるパフォーマンスとは、フォルムとは、ライディングフィールとは、ライディングの奥深さを知り、いまだロードに青春を見る男たち。彼等が求めるのは、レーシーなマシンがサーキットにおいてこそ、その本領を発揮するように、ロードを活躍の舞台とするマシン。心躍る休日を、共に過ごすことのできる愛車。FZX750、ヤマハ4ストロークパフォーマンスの思想(ジェネシス)が、そのひとつの解答を創り出した。ライダーの秘めた闘志に適確に反応するパワーユニット。ワイドなタイヤが象徴する、トルクフルでずばぬけた加速性能。ストレートダウンドラフトを視覚的に訴え、確かな存在感を主張する個性的なフォルム。こいつが好きなんだと、素直に言えるマシン、FZX750。休日、脚ときめかせて待っている自分に気がつくことだろう。



**HAVE A NICE RIDE!** ナイスライディングをよろしく。■ヘルメットを正しくかぶりましょう。■点検・整備を忘れずに。■安全のため、改造はやめましょう。■騒音防止のため必要ならふかしはつしみましょう。安全速度で走りましょう。無理な追い越しはやめましょう。カーブではスピードをひかえめに。よく見る、よく見られることに努めましょう。早朝・夕暮れは早めにヘッドライトの点灯を。YRSで正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

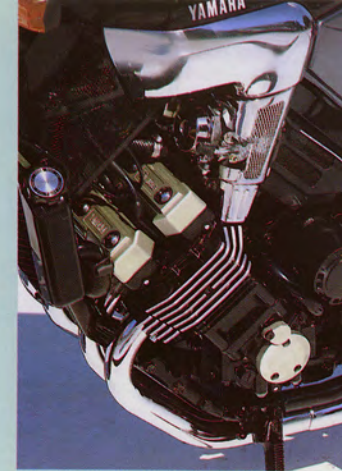
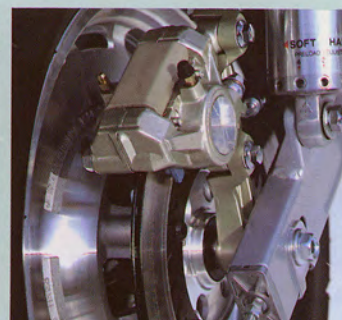
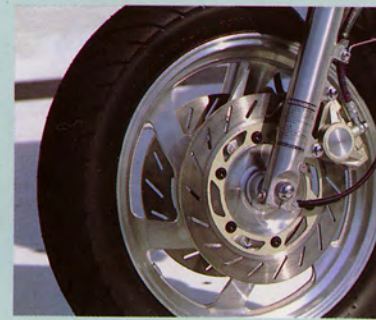
ヤマハ発動機株式会社  
〒438 静岡県磐田市新井2500  
TEL 05383(2)1111  
8604-50D、㊞-011295



# 休日スポーツ主義



ジェネシス——ヤマハ4ストロークパフォーマンスの思想。この最も先鋭的なインテリジェンスが、ロードに行くことの愉悦を知るライダーたちに贈る、新しい正統。FZX750。パワーユニットは、FZ750でその高性能ぶりを実証した、前傾45°レイアウトされた水冷5バルブDOHCインライン4エンジン。ジェネシスが可能にしたストレートダウンドラフトを視覚的に訴えるデザインワークでも、主役を演ずるのはこのエンジン。常用域での加速性能を向上させるべく、吸排気用のカムプロファイルを変更。排気系では、#2と#3のエキゾーストパイプを連結することにより、排気の通路抵抗を低減させ、低中速域での高い吸排気効率と燃焼効率を実現。最高出力77ps/8,500r.p.m.トルクは、なんと最大7.1kg-m/6,000r.p.m.という強さを示している。磨きがかかったのは、力強さばかりではない。リジッドとラバーマウントを併用した3点式エンジン懸架方式は、快適な乗



り心地に貢献している。

この高性能なパワーユニットを搭載しているのは、角型と丸型の鋼管を組み合わせた新設計のダブルクレードルフレーム。メインフレーム前部の幅を狭くして、キャブレター部分でエンジンと融合するスリムなフレームワークは、750mmという低いシート高や自由なライディングポジションを可能にしている。

操縦性を大きく左右するサスペンション。フロントにはセンターアックスレテスコピックタイプを採用。アルミ製スタビライザーも装着され、安定したハンドリングと、底突き感のないソフトな乗り心地を確保。リヤには、美しく洗練された外観を誇る。ガス封入式ダンパとコイルばねを組み合わせたコンベンショナルタイプを配し、微少振動もよく吸収して快適な走行を約束している。

## GENESIS

すべては、ジェネシスに始まった。  
ロードに息づくパワーユニットは、前傾45°5バルブDOHCインライン4エンジン  
視覚に訴えるストレートダウンドラフト。  
この卓越したパフォーマンスが、男たちの休日の喜びを加速する。



あからさまな闘志を、男たるものよとせず。  
堂々と道を行く風格のなかに、秘めたものを持つ。  
FZX750、ロードスポーツの未来形が  
余裕の表情で、いま現れた。

FZX750の強大なパワーを路面に伝えるのが、ワイドな小径タイヤ。ディッシュタイプのアルミホイールに装着された、フロント110/90-16リヤ140/90-15のチューブレスタ입。フレーム、サスペンションと共に、安定した操縦性と軽快なハンドリングを両立させている。

パワフルであるが故に、ストップングパワーも十分なものが要求される。フルブレーキング時の性能はもちろんのこと、ブレーキフィードバックの快適性も求めた結果、フロントにはダブル、リヤには耐フェード性の高いベンチレーテッドタイプシングル、油圧式対向ピストンキャリパーディスクブレーキを配した。

従来のタンク位置には、エアインテークシステムが置かれ、そのサイドカバーからキャブレター、エンジン、マフラーと続くデザインラインは、FZX750の先鋭性



を主張している。タンクは、半内装式となってマシン中央寄りに位置し、重量マスの集中と低重心化に貢献している。電磁式燃料ポンプが装着され、リザーブの切替えも電気式となり、ハンドル右手元の操作しやすい位置にスイッチを設けた。タンクキャップは、アルミ製エアブレンタイプを採用。さらに、エアインテークシステム上面には、インジケーターを配し、マシンからの情報をここに集中させた。スピードメーターとタコメーターは、サイズの異なるシンプルなものとし、リムレスタイプのヘッドライトと共にフロントビューの美しさを強調している。

群をぬく操縦性の高さと、十分すぎる高性能を実現したマシン、FZX750。先鋭の思想「ジェネシス」が可能にした、モーターサイクルの新しい形。なんと馴染みやすい未来形のだろう。

